

【 国 語 】 内容および観点別の分析

観点	国語への関心・意欲・態度	話す聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・能力
課題	・進んで読書するが、発表や難語を調べる意欲に課題がある。	・伝えたいことを整理して話す、集中して話を聞くことに課題がある。	・文を構成する力に課題がある。	・文の内容を正確に理解し読み解く力が不十分である。	・漢字の習熟に差があること、語彙をもっと増やすことに課題がある。
考察	低・中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりした姿勢でいられず、最後まで集中して話を聞くことが苦手な児童がやや多い。 ・読書が好きな児童が多い。 ・発言には個人差があり、場にあった声の大きさはまだ定着しているとは言えない。 ・文の組み立てにしたがって書く意識が不十分。 ・事実の読み取りは得意だが、文章が長くなり、気持ちを類推することに苦手意識がある。 ・音読・漢字の学習に意欲的に取り組んでいる。しかし、既習の漢字を活用することが苦手である。 			
	高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に意欲をもって取り組むことができる。自分の考えを進んで発表する意欲が不十分である。 ・話を聞く態度が育ちつつある。話の中心をとらえて内容を豊かに伝える力が不十分である。 ・伝えたいことを明確にして、自分の考えを表現し、文を構成して書く力が伸びつつある。 ・要旨や課題をとらえたり、筆者の考えを理解したりする力が伸びつつある。 ・個人によって漢字力に差がある。語彙不足。家庭学習の習慣の定着にも差がある。 			
改善策	低・中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・聞く能力を高めるために、話を聞く姿勢(体に向ける・目を見る)や態度の指導を徹底していく。 ・声のものさし(場にあった声の大きさを表にしたもの)の表を活用する。 ・教科、学活などでペアや少人数などのグループでの話し合いの機会を意図的に多くする。 ・週1回の朝の読み聞かせ、年2回の読書週間を設ける。学級文庫の充実を図る。 ・音読の練習を年間を通じて家庭学習などで取り組む。学級やグループでの音読や群読などの機会を設ける。 ・文の組み立てメモなどを使用し、書く内容をはっきりさせるようにする。 ・文章の読み取りのポイント(文章の言葉や表現、接続詞等)を明確に指導する。 			
	高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書を活用したり、新聞を読んだりして文字や文に多く触れさせ、要旨を読み取る力を付けさせる。 ・ペア、グループ等の話し合い活動を工夫し、スピーチや人前で発表する場面をできるだけ多く取り入れる。 ・言葉遣いを意識させ、時と場面に応じた話し方のスキルを身に付けさせ、体験を通して経験を積ませる。 ・家庭学習で文を書かせたり、作文指導や感想文の時間をより大切に指導したりする。 ・家庭学習を習慣付け、日々の学習での定着や小テストなどを通して、漢字の読み書きの習熟を図る。 ・言葉遊びや音読、読書や親子読書などで、いろいろな言葉に触れて語彙を増やす。 			

【 社 会 】 内容および観点別の分析

観点	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考判断	観察・資料活用 の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
課題	・体験、調べ学習に関しては大変意欲的に学習に取り組む。しかし、日常生活の中では、経験・体験不足から社会的事象の関心は不十分である。	・社会的な背景を読み取りながら、事象について考えることがやや苦手である。	・2つ以上の資料を比較し、読み取ったり考察したりする力が十分ではない。	・言葉は知っているが、理解にはつながっていないこともある。
考察	中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・学年が上がるにつれ、学習内容が身近なものから外へ広がるため、興味・関心については、個人差が大きい。 ・体験学習に意欲的に取り組む。 		
	高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞やニュースを見ていない児童が多く、社会的事象に対する関心がやや不十分である。 ・グラフや写真などの資料から、必要なものを調べることは出来るが、そこから社会的な見方や判断をしていくことは、個人によって差がある。 ・資料から見付けたことや複数の社会的事象を比較・関連付けて思考する力が伸びている。 ・都道府県や国名で、名前と位置が一致していない児童がやや多い。 		
改善策	中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な例を取り上げ、導入で関心を引くように工夫する。 ・体験的な活動を多く取り入れ、社会への興味・関心を引く。 ・簡単な資料を提示して、資料から事実を読み取り、わかったこと・考えたことをまとめる活動に取り組ませる。 ・都道府県や国名をゲーム感覚で競い合わせて覚えさせるなど、取り組みを工夫する。 ・自分の考えをもつ学習を多く取り入れる。(新聞のコラム、ワークシートなど) 		
	高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事やニュースを学習で扱い、社会に目を向けさせる工夫をする。 ・グラフや表を読み取る学習や資料を活用する学習を適宜取り入れ、事象を読み取り、考えるおもしろさを味わわせる。 ・既習事項をもとに、学習問題をつくり、予想を立て、調べまとめる学習を多く取り入れながら、みんな協力して解決していく活動を取り入れながら、より思考・判断が深められる学習展開につなげる。 ・社会的な事象と自分の生活と結び付けながら学習を進めることで、社会的事象についての関心を高めていけるようにする。 ・図書資料やインターネットを活用して情報を収集し、様々なまとめ方を体験させて情報活用能力と自分の考えを表現する力を伸ばす。 		